西部版

地域の催しは浜松支局へ ☎053(453)0008

浜松市
プロポで12月
市民音楽ホール　基本・実施設計

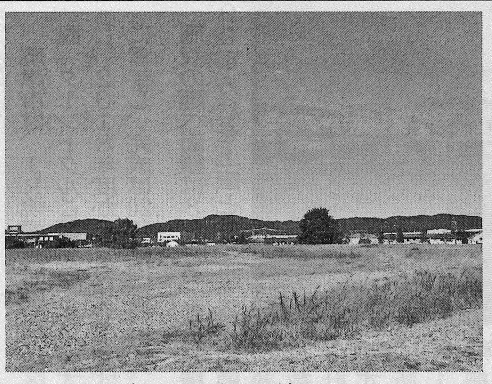
浜松市は、新たな市民文化創造拠点施設完成までの代替として北区新都田に建設する市民音楽ホールについて、11月補正予算案に地質調査費と基本・実施設計費の債務負担行為を設定した。上限額は1億5066万円。期間は2017～18年度の2カ年。12月中に基本・実施設計の委託先をプロポーザル方式で決めるため、要項などを公告する。地質調査も12月中に制限付き一般競争入札で委託する意向でいる。

市民音楽ホールは鉄骨造の想定で、延べ床面積約5700平方㍍の内部に1500席程度を収容するホールと楽屋、リハーサル室、多目的室、ホワイエなどを設ける計画。450台以上を収容する駐車場や大型バスが駐停車できるロータリーも確保する。工事費は、本体工事として約37億円、外構工事として約3億円を見込んでいるという。

建設候補地は市内8カ所の市有地を検討した結果、「都田センター用地（北区新都田102ノ1）」とした。

建設方針として、「シンプルで使いやすい施設」「ライフサイクルコストの縮減」「短期間整備、早期オープンを可能とする施設」を掲げ、19年1月納期で基本・実施設計を進める。同年6月に建設工事に着手し、20年9月の完成を目指す。

同ホールは、学校や吹奏楽などの音楽団体を利用対象に見込む。鈴木康友市長は市議会の答弁で、新たな拠点施設完成後も継続して有効利用する考えを示している。


都田センター用地の現況

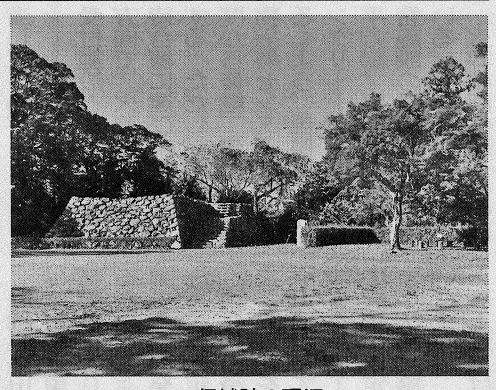
浜松市
当初案に予算要求
二俣城跡など国指定史跡へ

浜松市は、国の文化審議会が天竜川流域にある戦国時代の山城・二俣城跡（天竜区二俣町二俣）と鳥羽山城跡（同）を国指定史跡とするよう文部科学大臣に答申したことを公表した。官報告示で正式に指定される。市内の国指定史跡は3件目。観光地としての整備・活用に向けたプランニングなどにかかる費用を2018年度当初予算案に要求する意向でいる。

市は、17年度のNHK大河ドラマ「おんな城主直虎」放送を契機に、両城跡の整備活用を計画。16年度に基本計画を策定し、17年度中に国指定史跡指定となることを目指していた。

現在、二俣城跡は城山公園、鳥羽山城跡は鳥羽山公園として利用している。具体的な整備手法や整備方針は庁舎内で協議検討を進めていくが、損傷している石垣部分の補修・改修や損傷した構造物の補修、史跡へ誘導する看板の設置などを想定している。

二俣城跡の主要な遺構は、南北300㍍、東西250㍍の範囲にあり、堀で区画された施設の要所に石垣がある。鳥羽山城跡は二俣城跡の南に広がる東西1000㍍、南北350㍍ほどの独立丘陵上に立地。枯れ山水庭園や大手道など迎賓的な要素が強いとされている。


二俣城跡の現況

袋井土木
西方川改修事業
仮橋の詳細設計着手
東海道本線下の橋梁撤去

静岡県袋井土木事務所は、一級河川西方川総合流域防災事業として、バイパス河川の整備を進めている。これに伴い、JR東海が東海道本線下の橋梁撤去を計画しており、施工に必要となる仮橋の詳細設計を同事務所が国際航業静岡支店（静岡市葵区）に委託し、2018年3月16日納期で進めている。順調にいけば、仮橋の整備を18年度に実施する方針でいる。工事の発注は静岡県が行う。

施工場所は、ローソン菊川西方店（西方2545ノ1）東側。掛川浜岡線と平行する線路と旧西方川が交わる箇所の橋を撤去する。仮橋は施工場所までの進入路を確保するためのもので、東海道本線南側にあるコンクリート2次製品上に整備。幅員5㍍、橋長18㍍を想定しているが、詳細は設計の中で固めていく。

撤去予定の橋は、19年度にJR東海に委託して解体する。バイパス河川に水を通す18年度以降に工事着手する予定。撤去方法などはJR東海が検討する。

この他同事業の一環として、山西茶農製茶工場（西方4503ノ2）東側付近の橋梁の架け替えと橋梁の上・下流部分で、延長約100㍍の河川改修も計画している。橋の架け替えでは、既存橋（幅員2・5～3㍍、幅員約4㍍）を、幅員約4㍍、ボックスカルバート（内空幅約7・5㍍）の（仮称）4号橋として付け替える計画でいる。

同河川の総合流域防災事業は、08年度に事業採択された。東海道本線より上流区間では浸水被害軽減のため拡幅を検討したが、両岸に民家が多く拡幅が困難なためバイパス河川を整備することにした。旧西方川については、今後、市が管理することになるという。

施工予定の橋。施工に必要な仮橋を今後整備する

「日々努力」

マブチ工業（浜松市北区）
代表取締役　**馬渕　正利氏**

いつも現状に満足せず、立ち止まることなく努力を積み重ねることが大切だと考える。自分だけで努力を続けようとするよりも、優れた人を見つけて良い所を学びながら、心では「負けないぞ」という気持ちでいることが努力を続けることだという。

月末までに要項公告
浜松医大／RI動物実験施設の空調改修

浜松医科大学は、大学敷地内にあるRI動物実験施設の空調設備改修を計画しており、工事を一般競争入札で発注するため11月末までに要項を公告する予定だ。

既存の空調設備の老朽化している8系統のうち、1系統の空調設備を取り換える。工期は約3カ月を予定。RI動物実験施設の規模は、鉄筋コンクリート造地下1階地上4階建て延べ4070平方㍍。同大学の所在地は浜松市東区半田山1ノ20ノ1。

設計は建築設備計画（名古屋市北区）が担当した。

地域NEWS

アンケート結果検証など議論
第2回菊川かわまちづくり協議会

菊川かわまちづくり協議会（赤堀慎吾会長）は17日、菊川流域の地域資源と水辺空間を活用し、にぎわいを創出するための第2回検討会を開催した。河川管理者の国土交通省浜松河川国道事務所や菊川市、地元連合自治会の代表者らが参加した＝写真。

赤堀会長は「この協議を通じて、市民による新しいにぎわいが生まれるよう取り組んでいきたい」とあいさつ。

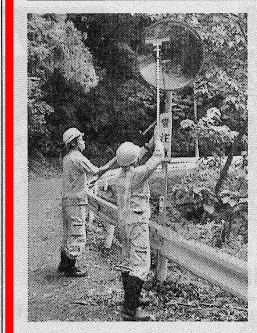
国土交通省浜松河川国道事務所の尾藤文人所長は「菊川周辺をよりよくするために決めていくことはたくさんある。まちづくりについて丁寧に議論していきたい」と語った。

当日は、第1回協議会の振り返りと今後のスケジュール案の確認などを行った。また、社会実験で得られたアンケート結果を検証したり、かわまちづくり検討方針案や六郷地区などを含む3カ所の拠点整備イメージ案などについても意見を出し合った。

地域貢献
森町地内全域でカーブミラー清掃
森町建設業協組

森町建設事業協同組合（岡野良隆理事長）は、地域貢献活動の一環として森町地内全域を対象とするカーブミラーの清掃を行った＝写真。会員企業6社から15人が参加し、町内にカーブミラー約300基を一つずつ磨き上げた。

岡野理事長は「町内には山道など狭い道が多く、往来の危険が生じやすい。きれいになったカーブミラーを利用して事故を防いでほしい」と話した。



浜松城公園でホタルを放流
フジヤマ

フジヤマ（浜松市中区、藤山義修社長）と浜松中部学園（浜松市中区）は、「浜松ホタルもすめる良い自然プロジェクト」の一環として、浜松城公園内にある葵の小みち脇水路で「ホタル幼虫放流会」を開催した。

同校の児童や地区住民らも参加。信州大学の藤山静雄名誉教授による「ホタルもすめる良い自然と生物多様性」と題する講話の後、ホタルの幼虫を放流した。

ホタルの幼虫を放流する児童

安全大会

年末年始に向け安全意識高める
袋井市建設業協組

袋井市建設事業協同組合（塚本法樹代表理事）は17日、袋井北公民館で第23回安全大会を開いた。組合員をはじめ、市内の建設関連事業者らが参加し、年末年始に向け安全意識を高めた。

塚本代表理事＝写真＝は「現場での経験が少ない新規入職者や外国人労働者の事故が発生している。各社・各現場で安全管理の徹底を図ってほしい」と呼び掛けた。

来賓の荻原成夫袋井市水道部長は「市民生活に直結しているインフラの整備は、新設から維持管理の時代に移る。これからも協力してほしい」とあいさつした。

大会では、安全標語表彰の後、寺田守袋井市議会議員が「ファン・ボイ・チャウが見た二つの日本」と題し講演した。